

参考文献

- [1] J. P. Hill, W. Jin, A. Kosaka, T. Fukushima, H. Ichihara, T. Shimomura, K. Ito, T. Hashizume, N. Ishii, and T. Aida, *Science* **304**, 1481–1483 (2004).
- [2] W. Jin, T. Fukushima, M. Niki, A. Kosaka, N. Ishii, and T. Aida, *Proc. Natl. Acad. Sci. USA.* **102**, 10801–10806 (2005).
- [3] Y. Yamamoto, T. Fukushima, W. Jin, A. Kosaka, T. Hara, T. Nakamura, A. Saeki, S. Seki, S. Tagawa, and T. Aida, *Adv. Mater.* **18**, 1297–1300 (2006).
- [4] T. Hara, K. Furukawa, T. Nakamura, Y. Yamamoto, A. Kosaka, W. Jin, T. Fukushima, and T. Aida, *J. Phys. Soc. Jpn.* **77**, 034710 (6 pages) (2008).
- [5] W. Jin, Y. Yamamoto, T. Fukushima, N. Ishii, J. Kim, K. Kato, M. Takata, and T. Aida, *J. Am. Chem. Soc.* **130**, 9434–9440 (2008).
- [6] Y. Yamamoto, T. Fukushima, Y. Suna, N. Ishii, A. Saeki, S. Seki, S. Tagawa, M. Taniguchi, T. Kawai, and T. Aida, *Science* **314**, 1761–1764 (2006).
- [7] Y. Yamamoto, T. Fukushima, A. Saeki, S. Seki, S. Tagawa, N. Ishii, and T. Aida, *J. Am. Chem. Soc.* **129**, 9276–9277 (2007).



やまもと・ようへい

1975年7月 福井県に生まれる。2000年3月大阪大学大学院理学研究科修士課程修了、2003年3月大阪大学大学院理学研究科博士課程修了。日本学術振興会特別研究員を経て、2005年4月より科学技術振興機構ERATO相田ナノ空間プロジェクト研究員、2005年10月よりERATO-SORST「分子プログラミングによる電子ナノ空間の創成と応用」研究員、2008年7月より現職。研究テーマは、自己組織化ナノマテリアルの創成と物性。趣味は、3歳の娘と週末遊ぶこと。学生時代には体育会ヨット部に所属しており、全日本インカレ出場も果たしたが、研究を始めてからはほとんど海に出ていない。

共同利用研究実施状況

平成19年度（後期）共同研究実施状況

協力研究	「積分方程式理論を用いた有機溶媒-水混合溶液の相分離に関する研究」を始め47件
UVSOR施設利用	「MFI上のMoOx触媒活性種のL-XANESによる微細構造解析」を始め77件
施設利用	「核酸化学修飾方の開発」を始め34件

平成19年度（後期）分子研研究会

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
2007年12月4日（火） ～5日（水）	光機能性と高選択的反応性の融合が切り拓く新しい錯体光化学	鈴木 孝義 (大阪大学大学院理学研究科)	33名
2007年12月17日（月） ～19日（水）	先端的ESR手法による分子性物質の新機能性探索	溝口 憲治 (首都大学東京大学院理工学研究科)	58名
2008年3月10日（月） ～11日（火）	分子の視点から見る光合成	杉浦 美羽 (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)	47名